

AIとデータサイエンスの近未来

公益社団法人日本工学アカデミー九州支部では、次世代を担う優秀な若きエンジニアの育成に貢献すべく、毎年、九州沖縄地区の高校や高等専門学校の生徒・学生の皆さんを対象とした出張講演会を実施しています。今回は、沖縄工業高等専門学校において、標記テーマのもとに、私達が安全で快適な日常生活をおくる上で必要不可欠な社会基盤となっているデジタル技術に関して、特に人工知能(AI)とデータサイエンスに焦点をあてて、講演会を開催いたします。

～プログラム～

- ◆ 14:50～14:55
開会挨拶
沖繩工業高等専門学校長 佐藤 貴哉 氏
- ◆ 14:55～15:10
主催者挨拶
(オンライン) 公益社団法人 日本工学アカデミー専務理事 城石 芳博 氏
- ◆ 15:10～15:50
講演(1) 「AIはどこを見ている?～判断根拠の視覚的説明～」
中部大学教授 山下 隆義 氏
(日本ディープラーニング協会有識者会員)
- ◆ 15:50～16:30
講演(2) 「データサイエンスで琉球諸語を視る」
琉球大学教授 岡崎 威生 氏
- ◆ 16:30～16:35
閉会挨拶
(一社)九州建設技術管理協会学術顧問 日野 伸一 氏
(日本工学アカデミー九州支部副支部長)

日時

2023年 1月11日(水) 14:50～16:35

会場

沖縄工業高等専門学校 視聴覚教室

対象

2年生(160名)【校内オンライン配信有】

主催：公益社団法人日本工学アカデミー九州支部

後援：独立行政法人国立高等専門学校機構

九州工学教育協会

～講演について～

【講師】
中部大学 教授
山下 隆義 氏

講演（１）「AIはどこを見ている？～判断根拠の視覚的説明～」

概要：人工知能を実現するための手段である機械学習，特に深層学習は様々なタスクに応用されている。画像認識分野では，大量の学習データと高い計算処理能力のGPUを活用することで，人を超える高い精度を達成することもある。一方で，深層学習により実現した人工知能がどこに着目して処理しているか，その判断根拠に関する関心も高まっている。本講演では，人工知能の判断根拠を可視化する方法およびその活用事例について紹介する。

【講師】
琉球大学 教授
岡崎 威生 氏

講演（２）「データサイエンスで琉球諸語を視る」

概要：データサイエンスは、統計学や機械学習、プログラミングなどを活用してデータ分析を行い、課題解決に取り組む学問である。その視点で琉球諸語の解析に取り組んだ結果、これまで言語学研究者が気がつかなかったことを発見し、定量的に説明することができた。その一端を紹介する。



備瀬のワルミ